

1 奉納刀剣

刀剣は神社の御神体として祀られているものもあるように、古くから神聖なものとして崇められてきました。宇佐神宮ではとくに刀剣との結びつきは深く、神息という伝説的刀工の作品が伝えられています。

宇佐神宮奉納刀

番号	種別	銘	文	長さ cm	時代	備考
1	剣	奉施入八幡宇佐宮 為將軍宮御代官□□	権少僧都信聰	93.5	南北朝	重要文化財 懷良親王奉納
2	太刀	神息		74.6	室町	重要美術品
3	短刀	神息		23.2	室町	
4	刀	則光		67.3	室町	
5	槍	山城国住文殊包行		63.5	室町	
6	槍	—————		42.0	江戸	
7	槍	—————		29.5	江戸	
8	槍	—————		14.5	江戸	
9	槍	—————		13.6	江戸	笹穂
10	短剣	筑前国住信国		33.0	江戸	
11	刀	守春		72.0	室町	
12	短刀	備前国住長船春光		29.2	室町	
13	刀	奉上八幡宮（以下不明）		79.3	室町	
14	刀	応長谷川氏需藤原寛一 寛政十一 _未 巳年	於奥州福嶋造之	63.0	江戸後期	
15	脇差	藤原兼正造		49.5	江戸	
16	脇差	九州同田貫		56.5	江戸	
17	刀	筑後久留米住清秀		66.9	江戸後期	
18	刀	豊後住本荘国行作之 奉納宇佐八幡宮	叙勲記念併喜寿 昭和五十六年八月日	75.4	現代	日田市

春日神社奉納刀

（春日神社は大分市勢家町所在）

19	大太刀	□□春日大明神 豊州府内住藤原豊國	日根野織部正□藤原□□□ □□拾□年□月日	106.7	江戸	寛永か
----	-----	----------------------	--------------------------	-------	----	-----

三島神社奉納刀

（三島神社是由布市挾間町所在）

20	大太刀	鎮久		88.8	室町	
----	-----	----	--	------	----	--

西寒多神社奉納刀

（西寒多神社は大分市寒田所在）

21	刀	肥後国住藤原正盈 奉納西寒多神社		67	江戸	
22	脇差	了戒家能		44	室町	
23	脇差	行長		57	江戸	

2 豊前・豊後の刀

大内と大友の両勢力がしのぎを削った豊前には宇佐・安心院に山城から刀工が来住。豊後では高田庄（鶴崎地区）が一大生産地として栄えました。

番号	種別	銘	文	長さ cm	時代	備考
1	刀	了戒重能		70.3	室町後期	豊前 宇佐・安心院鍛冶
2	薙刀	了戒家能		52.1	室町後期	〃
3	短刀	了戒定時作		20.6	室町後期	〃
4	刀	平信国吉包		63.5	室町後期	〃
5	刀	平長盛		68.0	室町後期	豊後高田庄鍛冶
6	刀	藤原長行作 八月日		83.6	室町後期	〃
7	槍	藤原鎮盛		101.5	室町後期	〃
8	短刀	鎮久作		29.1	室町後期	〃
9	刀	平鎮久		70.0	室町後期	〃
10	刀	豊州高田住藤原統行		61.8	江戸初期	〃
11	脇差	高田住統行		40.5	江戸初期	〃
12	刀	豊州高田住藤原実行		71.8	江戸前期	肥後藩鍛冶(豊後高田庄)
13	刀	豊後住山城大掾藤原義行		67.6	江戸前期	〃
14	脇差	豊州高田住藤原統景 豊後住行光		35.9	江戸前期	〃
15	刀	豊後住藤原輝行作之 貞享二年八月吉日 施主横山市郎兵衛尉正房		72.5	江戸前期	〃
16	薙刀	肥州唐津住豊後太郎本行 七十余歳 享保十二年二月吉日 於豊前小倉作之		33.3	江戸中期	(唐津)
17	刀	藤原豊政		68.8	江戸前期	府内藩鍛冶
18	刀	豊後国小林雅之亟国正 文政六年二月日造		70.0	江戸後期	岡藩鍛冶
19	刀	豊前住紀政平		76.8	江戸中期 ～後期	小倉藩鍛冶
20	短刀	紀國廣		21.8	江戸末期	〃

3 武士の粋

日本刀を腰に帯びるための拵。江戸時代にはさまざまな意匠がこらされた刀装金具（縁頭・目貫・鐔など）が盛行しました。

番号	名称	長さ cm	縁頭 (銘)	目貫	鐔 (銘)	小柄 (銘)
1	黒漆塗印籠刻鞘 打刀拵(大)	106	五尾の狐狩りの図 (天光堂秀国)	弓	家紋 赤銅魚子地 (光政)	
2	同 脇差拵(小)	77.5	源頼政ぬえ退治の図 (政随)	矢	蟻通の宮図 鉄磨地 (利興)	矢 (山城国西陣住埋忠 七左衛門橋重義作)
3	茶漆塗 打刀拵	98.5	菊水の図 (喜多武則)	梅花	唐草象嵌 鉄磨地 (信国又左衛門 源義昌造之)	
4	茶漆塗斜刻鞘 打刀拵	93	合戦図 (暘林齋勝質)	合戦図	合戦図 鉄透し (花路住 国長作)	
5	黒漆塗研出鮫皮鞘 打刀拵	107	牡丹の図 (大森満辰)	獅子	牡丹唐獅子図 赤銅石目地 (無銘)	
6	朱漆塗研出鮫皮鞘 脇差拵	61.5		大黒天		
7	黒漆塗合口式 短刀拵	45.5		家紋 丸に両引		
8	合口式 短刀拵	51		おもと		獅子

4 幕末の銃

和式から洋式へ

約 300 年間続いた火縄銃の時代から幕末になると洋式銃の模倣が行われました。

番号	種別	長さ cm	銘	文	備考
1	火縄銃	131.5	撰州住片山作太郎作		前装式
2	火縄銃 短筒	59			前装式
3	火縄銃 中筒	104	江州国友藤一郎綏耀		前装式
4	火縄銃 抱筒	88.5			前装式
5	管打ち式銃	148.2			前装式 (和洋折衷)
6	管打ち式銃 短銃	26.5			前装式 (和洋折衷)
7	かつあん 活鞞式銃	122.3			後装式 (和洋折衷)